

平成26年度広島県福山市立駅家西小学校 実施結果概要

(様式5-2：モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる学校支援制度 実施結果報告書）

実施結果報告書

1. 学習名称： 小学校TFP					
2. テーマ： 交通環境学習					
3. 実施教科： 総合的な学習					
4. 関連単元：					
5. 実施単元数： 5時間					
6. 学年	第5学年	7. クラス数	2クラス	8. 生徒数	62名
9. 実施内容					
<p>今回の実施は、小学校の「総合的な学習の時間」を使用し、地球温暖化防止の為に、習慣的になっている過度なマイカー利用を見直し、家庭でのコミュニケーションを通じながら「かしこい車の使い方」を考え、実践していくことを目的とする。授業は全3回・5時間で構成する。</p> <p>①動機付け②実行意図③実践④効果把握という過程を経ることで、児童が主体的に取り組める仕組みとした。行動プランの作成の際、相手のことを考え、具体的なプランを提案することが解決に繋がることを実感し、自ら考える力を育成する。</p> <p>また、効果をフィードバックすることで、短期間かつ日常生活の中での取組みであっても、大きな成果を挙げることが出来ると実感し、環境に対して意欲・興味を持った大人に成長し、長期的な効果を挙げるとともに、家族ぐるみの取組みとすることで、保護者にもかしこいクルマの使い方を再考してもらうことを目的とする。</p> <p>第2回の授業の際、学校に地域の中心部循環バス（まわローズ）を搬入し、小学2年生が描写する時間を設ける。絵は防水処理を施し、バス内や地域のイベントで展示することで、保護者が公共交通を利用するきっかけ作りを図った。</p>					

10. 学習のながれ：

1～2時間目

○DVD授業と二酸化炭素を使用した実験

DVD授業と二酸化炭素を使用した実験地球環境問題全般を取り扱ったDVD教材を通じて地球環境問題全般の概要と、環境問題と地球温暖化が深く関わっていることを知る。また、二酸化炭素を用いた実験によって二酸化炭素の性質・影響を実感し、地球温暖化の原因を知る。



<授業の様子と学んだこと>

- ・DVDと実験による授業であったため、楽しく参加することが出来た
- ・多くの環境問題が、地球温暖化と繋がっていることがわかった
- ・二酸化炭素は酸素よりも温度が上がりやすい

3～4時間目

○オススメ行動プランの作成

宿題で調べてきて貰った家でのクルマの使い方から、普段どのくらいの二酸化炭素を排出しているのかを計算する。また、地図を使って生徒自身が公共交通機関を利用したオススメ行動プランと、保護者宛の実施お願い文を作成し、2週間の実施期間の間に保護者に取り組んで貰う。この際、「出来るときに出来ることを」をキーワードとし、可能な範囲で実施をお願いする。



<授業の様子と学んだこと>

- ・普段の何気ない車の使い方でも、たくさんの二酸化炭素が排出されていることがわかった
- ・家の近くにも駅やバス停があることがわかった

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

○1年生向けのバスの乗り方教室と2年生向けの写生大会

地域のバス会社の協力のもと、学校へ地域循環路線「まわローズ」とバス会社の方を学校へ招き、バスについて説明をして貰う。この際、1年生にはバスの乗り方教室を、2年生には写生大会を実施した。バスを授業に楽しく取り入れることで、公共交通機関を身近に感じて貰う。



<授業の様子と学んだこと>

- ・バスに乗れて楽しかった
- ・エンジンや緊急脱出用の扉を見れて楽しかった
- ・まわローズが1日100kmも走っていると知って驚いた

5時間目

○取り組み結果の発表

2週間の取り組み結果を集計し、削減した二酸化炭素の量を発表することで、生徒に成果をフィードバックする。また、これまで学習した内容を皆で振り返りながらまとめる。

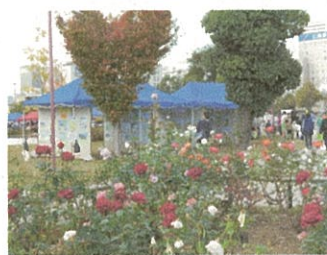


<授業の様子と学んだこと>

- ・出来るときだけの取り組みでも、沢山の二酸化炭素を減らすことが出来た
- ・二酸化炭素を減らすことが、他の多くの環境問題を解決することに繋がるとわかった

イベントでの学習成果発表

11月3日(月・祝)開催の「ふくやまバスまつり2014」へ参加し、授業を通して学んだことを取りまとめて発表した。発表の際は、来場者にわかりやすいようパネルに絵を描いて生徒が説明し、歌も披露した。また、来場者への啓発を目的に、3～4時間目の授業で作成した絵を防水印刷して会場に展示した。



バス内の掲示

作成した地域循環線「まわローズ」の絵の中から10点を、同バス内に掲示する。

掲載時期は、買い物などで中心部に出る機会の多いと考えられる年始時期(2015年1月2日(金)～12日(月・祝))とした。



【参考】授業の実施結果

実施期間：2014.7.1(火)～7.15(火)

実施人数：62人中19人

実施結果：37,838(g)

○1組

実施人数・・・8/31人

削減量・・・17,142g

TV相当量・・・173.2時間分(注1)

ボリューム・・・ $17,142(\text{g})/44.0(\text{g}/\text{mol}) * 22.4(\text{L}/\text{mol}) = 8726.8(\text{L})$

≒2Lペットボトル 4363.4本分

○2組

実施人数・・・11/31人

削減量・・・20,696g

TV相当量・・・209.1時間分(注1)

ボリューム・・・ $20,696(\text{g})/44.0(\text{g}/\text{mol}) * 22.4(\text{L}/\text{mol}) = 10536.1(\text{L})$

≒2Lペットボトル 5268.1本分

注1：1時間当たりの排出量を99gとして算出

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

